公開講演会

「心霊（たましい）」の行方について考える

生き方死に方を考える社会フォーラム公開講演会

8/16(土) 13:30-17:00

大阪大学中之島センター10F　佐治敬三メモリアルホール

第一部　講演　「心霊（たましい）」の行方について考える

大村 英昭 氏（僧侶・相愛大学教授）

第二部　対談　日本仏教と「供養」

大村 英昭 氏　　釈　徹宗 氏（僧侶・相愛大学教授）

入場無料・申込不要

（当日会場に直接お越し下さい。万一満席の場合はご容赦ください）

お問合わせ

565-0871 吹田市山田丘１－２　大阪大学人間科学研究科　文化社会学　山中 浩司

FAX: 06-6879-8078　email: yamanaka@hus.osaka-u.ac.jp

主催：生き方死に方を考える社会フォーラム　共催：大阪大学医療人文学研究会

公開講演会

「心霊（たましい）」の行方について考える

http://ikikata-forum.com/

現代人の、また現代人にとって、心霊（たましい）の行方をどう考えるべきでしょうか。人類史上決して消えることのない古くて新しい問題について、僧侶として、また自身のガン体験を通じて考えるところを大村英昭が忌憚なく語ります。第二部では、同じく僧侶として現代人に寄り添う活動を続けておられる釈　徹宗先生にご参加いただき、みなさんとともに、生あるもののたましいの行方を、送り火の日にちなんで考えたいと思います。

主催：「生き方死に方を考える社会フォーラム」共催：大阪大学医療人文学研究会

日時：２０１４年８月１６日（土）午後１時３０分−５時

場所：大阪大学中之島センター10Ｆ　佐治敬三メモリアルホール

（TEL：06-6444-2100 京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約５分）

電車・バスによるアクセス

京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約５分

阪神本線 福島駅より 徒歩約９分

JR 東西線 新福島駅より 徒歩約９分

※タクシーでお越しの際は、近隣施設や建物に中之島センタービル等類似した名称の建物がございますので、「大阪市立科学館　北側の『大阪大学中之島センター』」とお伝えください。

講師紹介

大村英昭

神戸商科大学、大阪大学人間科学研究科、関西学院大学社会学部を経て現在相愛大学人文学部教授。浄土真宗本願寺派僧侶。『非行の社会学』（1980）『死ねない時代　いま、なぜ宗教か』（1990）『日本人の心の習慣　鎮めの文化論』（1997）『臨床仏教学のすすめ』（2003）など、社会学、宗教学の著作多数。「煽り」一辺倒の現代社会にあって「鎮め」の文化の必要性を説く。大阪大学名誉教授。

釈　徹宗

如来寺住職、相愛大学人文学部教授。NPO 法人リライフ代表。『宗教聖典を乱読する』（2009）『ゼロからの宗教の授業』（2009）『不干斎ハビアン―神も仏も棄てた宗教者』（2009）『ブッダの伝道者たち』（2013 年）など著作多数。インターネット持仏堂での法話や、古民家を改造した認知症高齢者のためのグループホーム「むつみ庵」の創設者として著名。